

おいしいおいも、よいしょ！

～入方地区でさつまいも掘り体験～

8月26日(土)、東結入方地区でさつまいも掘り体験が行われました。地元の農業者で構成される農事組合法人おすぶ営農が、子どもたちに農業を知ってもらうことと、農家との交流を目的として、今年初めて実施しました。

土の中に埋まった芋を手やシャベルを使って掘り出すと、たくさん実ったさつまいもが現れる様子に、参加者は、思わず笑みを浮かべました。



▲たくさんのさつまいもが掘れました

学校保健の管理にご尽力

～豊田修さんが県教育功労者表彰～

学校保健功労に多大なる貢献があったとして、豊田修さん(南今ヶ淵在住)が県教育功労者表彰を受けられました。

豊田さんは、学校薬剤師として、昭和62年より30年に渡り、東安中学校の保健管理の振興にご尽力されてきました。(平成27年度までは名森小、結小でも在職)

受賞にあたり、「基準となる法に準じて、職務に従事してきました。今は消費者が自分の責任で薬を選ぶ時代です。単純に良い、悪いではなく、薬とは何かを知ってもらうような教育をしていけたらと考えています」と話されました。



▲表彰おめでとうございます

思いやりの心を育む

～高齢者福祉体験～

9月8日(金)、名森小学校6年生が高齢者福祉体験をしました。

白内障のように見えるゴーグルや、体に重りを付けたりして、高齢者の状態で歩く体験をしました。

また、1人が車椅子に乗り、もう1人が介助者として、スロープや段差、不安定な足場での操作方法を学びました。

段差を超える時には、「下ります」と声掛けをしたり、急激に下がることがないように、ゆっくりと下ろすなど児童たちは気配りをしながら車椅子を操作しました。



▲車椅子に乗っている人への気配りを忘れずに

歌とトークで元気に

～あすわ苑慰労訪問～

8月30日(水)、渡邊松雄さん(牧在住)、渡邊尚美さん(牧在住)、木村文隆さん(名古屋市在住)があすわ苑を慰問に訪れました。

歌を歌うことが好きな3人は、ボランティア活動として高齢者の皆さんに青春を思い出し、元気になってもらえればと「青春トリオ」というグループを結成し、同苑利用者80人の前で計8曲を熱唱しました。

参加者も一緒に歌ったり、手拍子をしたりして和やかな雰囲気の中で、歌を楽しみました。



▲あすわ苑に響く歌声